

地歴公民 (世界史B) 九州大学 文学部

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

大論述が1問 (500字) , その他の論述が3問 (120字・60字・120字) , 単語記述問題が24問

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

全3問はこれまでと変わらないが, 記述選択問題が復活した。また論述問題の字数が全体的に減少した。難易度自体はやや易くなったので, 多くの受験生にとって比較的解答しやすかったと思われる。

出題の特徴や昨年との変更点

大問〔2〕では, 昨年は資料文を読み取らなくても論述に反映させることができたが, 本年の問題は, 資料文を読み取って論述に反映させる問題となっていた。難しい資料ではないので, 受験生にとっては解答可能な問題となっている。

その他トピックス

〔2〕記号問題が出題された。また, 論述問題が1問減少した。〔3〕記号問題が出題された。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔1〕	論述 (500字) (30点)	東欧 (ロシア)・ 中東の政治改革	19世紀から20世紀後半までのロシア帝国・オスマン帝国・エジプト王国の青年将校による反乱と政治改革運動。	やや易
〔2〕	論述 (120字・60字・ 120字) 単答形式・記述 (8問)・単答 形式・記号 (1 問) (40点)	仏教を中心とした アジア史	3つの論述問題は, 大乘仏教の意味, インド文明の東南アジアへの受容, 明の交易秩序の再編, を述べさせる問題	標準
〔3〕	単答形式・記述 (13問), 記号 (2問) (30点)	反乱・抵抗の動き	世界各地の反乱, 抵抗運動に関する問題	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

〔1〕の長文論述問題は, 指定語句も多く, 問題の求め (主題) さえしっかりと押さえられれば比較的書きやすい問題であろうが, 全体の字数を考えて論述する必要がある。〔2〕の論述問題も, 昨年同様, 標準的な問題であった。それ以外の単答式の問題も含めて, 対策としては教科書に掲載されている事項を中心に, 問題演習などを通じて把握することである。